

卓話資料 1

『2630地区 職業奉仕部門委員会』

1. メンバー（2016－2017年度）

カウンセラー	：	服部 芳樹	（岐阜R. C）
委員長	：	岩田 勝美	（羽島R. C）
副委員長	：	坂谷 隆徳	（伊勢中央R. C）
委員	：	山本 和彦	（多治見リバーサイドR. C）
委員	：	桃井 力生	（鈴鹿西R. C）
委員	：	原尾 勝	（岐阜北R. C）
委員	：	菅内 章夫	（久居R. C）
アドバイザー	：	荻原 光明	（多治見リバーサイドR. C）

2. 活動内容（2016－2017年度）

1) 地区研修・協議会の事前打合せ及び最終確認 地区研修・協議会 職業奉仕部門セミナー実施 （高山：飛驒・世界生活文化センター）	2016. 04. 17
2) 職業奉仕部門委員会の引継打合せ	2016. 06. 24
3) 職業奉仕部門研修セミナーの打合せ（立案、詳細計画）	2016. 12. 03
4) 職業奉仕部門研修セミナーの最終打合せ	2016. 01. 28
5) 職業奉仕部門研修セミナー開催（於：名鉄グランドホテル）	2017. 02. 05
6) 職業奉仕勉強会の開催（於：岐阜都ホテル）	2017. 03. 05
新委員：菅内 章夫（久居R. C、飯田会員退会の為）	2017. 01より
次期委員：浦田 幸一（伊勢中央R. C）	2017. 07より

卓話資料2-1

『国際ロータリー2630地区岐阜Aグループ
2016-17年度会員増強セミナー』

日時：2017年3月5日（日）

場所：岐阜都ホテル

岐阜北R. C 会員増強委員会
委員長 原尾 勝出席者：永瀬 章 会長エレクト
波多野 光裕 幹事
西垣 康紀 次期幹事
原尾 勝 増強委員長
谷田 育子 次期増強委員長

- 挨拶：田邊 雅範 ガバナー補佐（岐阜中）
会員数ですが12月末時点で岐阜Aグループが260名。
岐阜南R. Cが創立60周年と言う事で87名が104名になっている。
近頃は、クラブが統合して生き残りを図っている。
- 基調講演：劔田 廣喜 ガバナー（高山中央）
2630地区目標：3000人をキープ
（1月末で三重：1345人、岐阜：1727人、計 3072人）
一部のクラブを除いてクラブの高齢化が進む一方でクラブの若返りや世代交代が停滞しています。このまま何の対策もせずに流れに任せていると5～10年後には、クラブの合併、脱会クラブという道を歩むのは必然となる訳です。近年、クラブの合併、脱会クラブというのが色んな地区で起こっている。ここでは、岐阜加納R. Cと岐阜中山道R. Cが合併致します。次年度から76クラブとなります。やはり、会員増強が無ければ財政的にも活動的にも行きづまっていく訳です。国際ロータリーは、会員が減少して行きづまる前に合併を奨励しております。また、20人以下のクラブは、合併すべきであると謳っております。只、私は、合併は賛成しかねる処があります。例えば30名のクラブと20名のクラブとが合併するとしますと50名にならない。必ず減る。
では、どうするか！入会時にロータリーは、どう言う組織かを理解せずにただ親睦、友愛、総合扶助のお楽しみクラブとして勧誘している。ロータリーの土俵に皆上がっていない。組織の魅力というより友達に対する魅力という事で会員を集めている。とに角、親睦いのちなんです。ですから合併になった時にあの人嫌い、この人嫌い、だからあのクラブ嫌いという事で減っていく、のではないかなと考えています。また、入会してから十分なロータリー情報、教育を施さずにただ在席しているだけだとロータリーの事が解らないまま辞めていく、そう言う現状がある訳です。何もしてないし、何も解らないからロータリーの理念の解明に対して熱心でなければ奉仕の実践に熱心でもない。ただ財団に寄付をしているだけで国際ロータリーの方向性については全く無関心、国際ロータリーの方向とは、益々離れていく。1983-84年のRI会長であるウイリアムスケルトンがロータリアンの最悪というのは、“ロータリアンのする事に関して無関心である”と言われた。ロータリーに対して真剣に取り組んでいる方が非常に少なく、殆んどの方が無関心なんですね！一番大切な事は、ロータリーに対する真剣さ、ひた向きさなんです。今、これが無いというか非常にすくないのです。これを打破するには、例会の時間を使って会員ひとり一人の能力の向上に努めて戴くしかないのです。

卓話資料 2-2

『国際ロータリー2630地区岐阜Aグループ
2016-17年度会員増強セミナー』

今、国際ロータリーが会員増強を訴えています。日本のロータリアンの数が一向に増えない。

この本質的な問題は、ロータリーがロータリアンにとっても地域社会にとっても魅力と存在価値が低下している。ロータリーの危機の表れではないかと思っています。ロータリアンの数の減少がロータリーの危機ではなくて『質の低下』がロータリーの危機である・・・と捉えないと21世紀のロータリーの未来、明るさは無いと思っています。ですから数の向上を目的とした会員増強よりもロータリアンひとり一人が実践として奉仕の理想を実行するという事、ロータリアンひとり一人の日々の言動が重要、これが質を重視した会員増強であると私は、思っています。会員の質を上げるという事が結果的に会員増強に繋がっていると思っています。手続要覧には、数の増加と質の増加を分けて書いてある。数の増加は、membership grouseで質の増加は、membership developmentである。手続要覧には、membership developmentと書いてある。だから会員増強とは、質の強化、向上を言っている。だから会員増強に対する共通の認識がなくては、いくら議論しても意味がない。会員数が減ったからと言って会員を増やそうというだけでは、根本的な解決にはなっていない。会員増強は、また、membership attraction and engagementに新しく変わってきた。これは、会員がロータリーに入会する時にロータリーの魅力をもっと高めようじゃないか！クラブに対するかわり、絆をもっと深めよう！という風にロータリー章典は、変わりました。以前よりも一歩も二歩も進んだ会員増強になっています。これは、国際ロータリーの対外的な第1の課題は、ポリオ、対内的な課題は、会員増強を示している訳です。

それでは、会員増強とは、何かという事ですがこれは、三つあります。第1は、クラブ組織の強化です。効果的なクラブになる事、これは、会員数を減らさない、増やすという事。第2は、成果ある奉仕プロジェクトを実施する。第3がロータリー財団のプログラムに参加し支援する。クラブレベルを超えたリーダーの肅正です。これが効果的なクラブです。そして2016年の規定審議会でクラブの目的が新設されました。これは、今言いました『効果的なクラブになる事』がクラブの目的になりました。次年度の会長・幹事さんは、これを踏まえてクラブの計画を立てて戴きたい。会員ひとり一人の能力の向上、クラブは、会員ひとり一人の力で成り立っている・・・そして数が増えるのは、質を向上させる事によって数が増える、クラブを強化する事が数を増やすという事を認識して戴きたいと思います。

次に『クラブの死重奏』についてお話しさせて戴きます。

効果的なクラブになっているかどうか？ ⇒ RIを脱会するかどうか？即ちクラブが無くなるかどうかの判断基準、

1. 会員数がピーク時の50%以下になっているかどうか？
2. 平均出席率が80%以下のクラブ
3. 平均年齢が70歳以上のクラブ
4. 地域の社会環境的課題

この4つに各当するとクラブが何時無くなっても可笑しくないという事です。

岐阜西クラブの方から以前は、会員が無くなるとその息子さんが入ってくれるケースが多かったが今は、この様な事がない。あるクラブでのお話しですがそこに女性会員がいっぱいいます。この方は、ご主人がロータリークラブに入ってみて亡くなったので入られた。では、何故入られたのか！？という事ですが生前、ご主人がロータリーは良

卓話資料 2-3

『国際ロータリー2630地区岐阜Aグループ
2016-17年度会員増強セミナー』

い処だ、素晴らしい処だと何時も奥様におっしゃっていた。そんなに良い処なら入ろうと言ってロータリークラブに入られた。普段からロータリーはつまらんとか飲みに行く姿しか見せていないところはならない。これをやって戴ければ会員は減らない。皆さんにやって欲しいのは、家庭でロータリーの良さを話して欲しい。これをして戴ければ御子息や若い人がどんどん入って来てくれると思います。

3. 伊藤 正隆 地区代表幹事（高山中央）

私、当クラブの第16第会長をしておりますその2年前からRI会長賞を取り続けておりました。増強の一番の方法は何かと話し合った時に全員が一丸となってRI会長賞を目指すのが一番良いという事になりました。会員増強は、会長賞取る為の条件の一つですので皆が必死で目指せばおのずと会員増強は、達成出来るのですね。よって11年の10回連続でRI会長賞を戴いております。唯一とれなかったのは、会員増強が達成できなかった時であります。クラブ会員全員が一丸となってやっていく、この意識を毎年、会長職の人に引き継いで行く、スタッフもそれを引き継いでいく。増強だけを考えるのではなく、クラブ全体の活性化の為にRI会長賞を目指すとともに良い結果を得られると思います。以上で御座います。

4. 剣田 廣喜 ガバナー（高山中央）

この度の規定審議会を受けてクラブ細則を通してどの様なクラブを創っていくかが問われます。これからは、個性のある、特徴のあるクラブが選ばれて行く、クラブの個性とは何かと言えば私は、理事会だと思えます。会長の意見が反映されるメンバーにしていかなければいけない。若い人を入れる為に規約を緩めれば良いかと言えば違います。ライオンズは、月2回の例会ですがやはり会員数が減っています。一番良いのは、年会費以上のメリットを与える事、クラブの入会金を下げるクラブが多々ありますがこれは、クラブの価値を下げる事なのです。ロータリーが此処まで発展してきたのは、ステータスがあったからなのです。東京R. クラブや名古屋R. クラブは、ガバナーを出さないのです。出さないのがステータス、要するに大きなクラブの会長の方がガバナーより価値があるという事なのです。ガバナーにいついつ公式訪問に来いと言うんですよ！この地区の老舗、岐阜クラブは、ガバナーも出してくれますし、本当に良い地区であります。

5. 堀場 巖 地区会員増強委員長（岐阜南） ⇒ 3年前の私（原尾）と同じ時の会長、私の南クラブは、最高167名の会員がいた。今年60周年を迎えました。3年前は、69名で20年間右肩下がりでした。とに角、10名増やしても12名減るとかで20年間、増える事は、ありませんでした。それで会長エレクト時代に歴代会長等、色々な方々の話を聞いたり、歴代会長会議を開いて意見を聞き、何とかしないといけないという危機感を共有して戴いた。会長になった7月の初日に理事会にて戦略会議を立ち上げました。そして13名入会、8名退会、純増5名という21年目にしてやっとプラスに転じました。次年度は、11名入会、6名退会、純増5名となりました。今期の当初にやっと80名になりました。会員が増えることにより活気が出、出席率も良くなりました。でも60周年記念事業までに会員100名が目標、あと、20名です。12月に90名近くになりました。後、1ヶ月半しかありませんが何とか101名にする事が出来ました。近々102名になります。

卓話資料 2-4

『国際ロータリー2630地区岐阜Aグループ
2016-17年度会員増強セミナー』

『岐阜クラブは、会員数100人以上にはしない』のは何故かという質問に対して

6. 田島 展之 次期会員増強長（岐阜）

私は、クラブごとに適正な会員数は、あると思います。うまく運営していくは、大きくなって派閥が出来たり、細部に目が行き届かなかつたりとすると退会者が出てきたりしますので・・・仲よしクラブで有ってはいけませんがある意味、有っても良いのではと思っています。クラブの会員数を維持する（減らさない）とかクラブの活動をして行く上でも良いのではと思っています。当クラブの運営としては、90～100名以内が一番上手くいくと思っています。1970年頃に90名になり、それからずっと90名前後でして殆んど変っていないクラブです。一番運営しやすい人数が90名程であるという事です。

分科会

7. 高橋 伸治 会長（岐阜）

期首84名から現在、92名の8名増強です。3月末に1名プラスです。目標、計画は、特に無し、岐阜クラブに相応しい方を先輩会員等から御指名戴いて増強しております。只、増やすのではなくロータリーの精神を解って戴ける方に入会して戴いております。御子息には、必ず入って戴ける様早めにアプローチをしています。支店長クラスが20名程いらっしゃいますので次の支店長にも入って戴ける様、現支店長に必ずタスキを繋いで下さいねというアプローチをしている。退会防止につきましては、パスト会長がロータリー情報委員長になって戴いて新しく入って戴く方の会社を訪問してロータリーについて詳しく説明をして戴いております。ロータリーとは何か、ロータリーの理念とか、岐阜クラブの定款、内規、細則等をしっかり説明して戴いております。大変な役目をパスト会長にして戴いておりますがやはり、入口が大切です。入る以上は、必ず出席するとか各奉仕活動について、親睦だけがロータリーでは無い、という事を教えています。厳しい事、大変な事もちゃんと教えて、これらを納得して戴いた方に入って戴いております。外に退会防止として、親睦を深めるという意味で趣味クラブがあります。謡曲部、写真部（定期的に文化センターで展示会を開いている）、ゴルフ部、ワイン会（今は中止）があります。

8. 山田 佳孝 会長（岐阜西）

期首54名、現会員55名です。純増2名、現在、岐阜中クラブとの合併の真最中です。今期、合併特別委員会を設けて7回程、会合をしております。合併によって会員数が減らない様、色んな対策をしている最中です。退会防止策は、特に無いのですが親睦を深めるという事でゴルフ会、謡曲の会、婦人の会、があります。女性会員は、0、特に入れようという事はしていない。

9. 河合 喜三 会長（岐阜長良川）

期首55名、退会者2名、今月1名の予定です。毎年2～3名の増、60名を目標。女性会員がいないので増やして行きたい。特に退会防止はしてないのですが話合いの場とか親睦を深めるという事で夜間例会を6回行っています。変わった処では、酒蔵見学会、岐阜祭を見る会、期末例会等があります。この夜間例会は最後を除いて家族も含めての

卓話資料 2-5

『国際ロータリー2630地区岐阜Aグループ
2016-17年度会員増強セミナー』

夜間例会をしています。IGMも全て夜間です。飲みながらザックバランに話をしようよという様にやっております。女性会員は駄目という年配会員がいましたが強引にOKに致しました。今、2人を予定しております。

10. 原尾 勝 増強委員長（岐阜北）

期首30、1名減、1月に1名増の現30名、40代、50代を中心に進めたいが某クラブでも有った様に60代はまだ若いので60代のリタイアした人もターゲットにしたい、退会者名簿を作成し、若くして辞めた方や御子息、娘さんを当たっています。退会防止としましては、1~2年で辞めていく人が多々いますのでフォローをもっと強化してロータリーの素晴らしさ、良さを解って戴ける様、また来て楽しい例会、ためになる例会を目指して退会防止を行っております。あと女性会員がいると華やかで和やかな雰囲気になりますので女性会員のアップを目指して行きたいと思っております。そして、入って間もない若い新人の退会が多いのでまずは、楽しい例会、来て為になる例会を目指しています。IGMも夜間に年5回実施、ホテルのレストランにてバズ例会を実施、何でも良いので言いたい事や、問題等を話し合っております。

11. 秋保 会長（岐阜中）

期首30、今も30名です。JC繋がり等の上下関係で入って貰っている。この方達は、出席率が悪かったり、直ぐに辞める人が多いので60過ぎの定年を迎えた、余裕がありまだ元気な人達も含めて、間口を広げて増強活動をして行きたい。増強が非常に難しいという認識があり、やはり合併が良いのではないかとこの事で特別委員会を設けて西の山田会長と共に協議を進めております。3月21日の総会で最終決定を行う予定です。退会防止策は特にとっておりません。辞めたいという人が出たら皆で必死に引きとめているだけです。クラブが嫌で辞めるという方は、殆んどいません。外的要因（健康、年齢、会社の経営状況等）が殆んどであると分析しています。

12. 堀場 巖 地区会員増強委員長（岐阜南）

自分の反省も含めてですが新入会員に対してロータリーとは何ぞやという事をあまりにも説明していない。友達感覚で入って貰う、辞められたら困るので難しい事は、言わない。質を高める、ロータリーの事を知って貰ってこう言う為にロータリーはあるという勧誘をすべきがただ単に入ってちょうだい、に走っていつている。それでちょっと面白くないと直ぐに辞める。これが現状の様な気がします。

《まとめ》

1. 入会時にロータリーについてロータリーの本質、理念をしっかりと説明する。良い事も大変な事も含めてちゃんと理解して貰ってから入って戴く事が重要であると考え。岐阜クラブは、入会前にその会社を訪問して、ロータリー情報委員長（会長OB）がロータリーの本質、理念、クラブの定款、内規、細則をしっかりと教えている。ロータリーの大変さ、厳しさもちゃんと説明して納得して貰った人に入って戴いている。
2. ドイツのクラブの様に、入会条件を厳しくしたらより多くの人が入ってくれた。入りにくくするとステータスが上がり、入りたいたいと思うし、入ったら辞めない。また、南クラブの様に新入会員が新入会員を入れている、若い仲間が若い人を引っ張ってくれている、相乗効果がある様です。